



イーソル株式会社

2023年12月期 第1四半期決算説明資料

2023年5月12日

目次

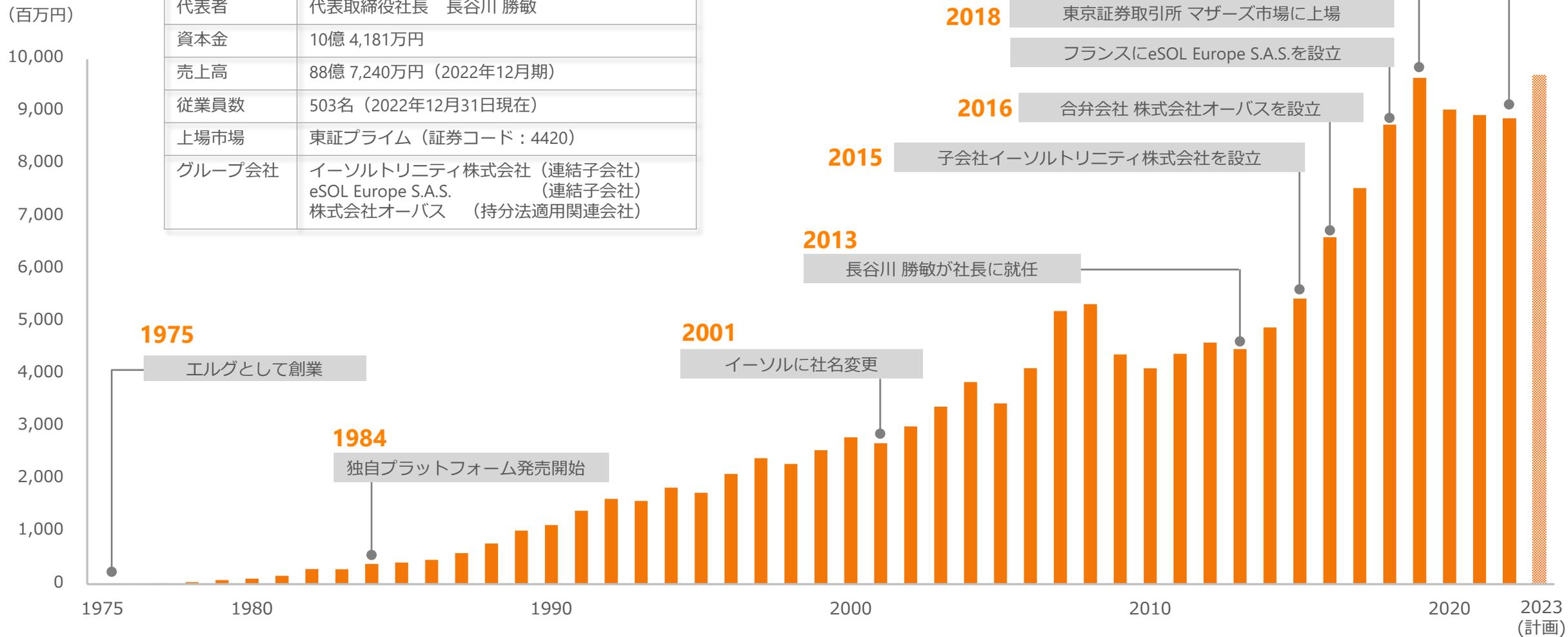
1. 会社概要
2. 2023年12月期 第1四半期決算概要
3. トピックス

1. 会社概要

沿革

変化の激しいソフトウェア業界で持続的に成長

社名	イーソル株式会社（英名：eSOL Co.,Ltd.）
代表者	代表取締役社長 長谷川 勝敏
資本金	10億 4,181万円
売上高	88億 7,240万円（2022年12月期）
従業員数	503名（2022年12月31日現在）
上場市場	東証プライム（証券コード：4420）
グループ会社	イーソルトリニティ株式会社（連結子会社） eSOL Europe S.A.S.（連結子会社） 株式会社オーバス（持分法適用関連会社）



事業内容

組込みソフトウェア事業とセンシングソリューション事業の2つのセグメントから構成



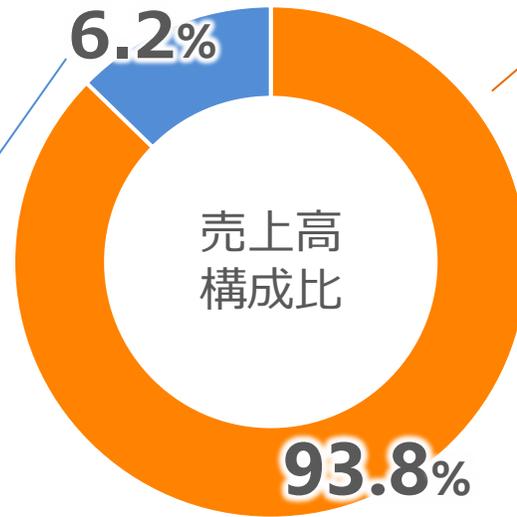
センシングソリューション事業

【物流関連ビジネス】

- 指定伝票発行用車載プリンタ
- 常温ハンディターミナル
- 耐環境ハンディターミナル、および販売支援用ソフトウェアの開発・販売

【防災・減災ソリューション】

- センサネットワークシステムの提案



2022年12月期

組込みソフトウェア事業

【組込みソフトウェア製品】

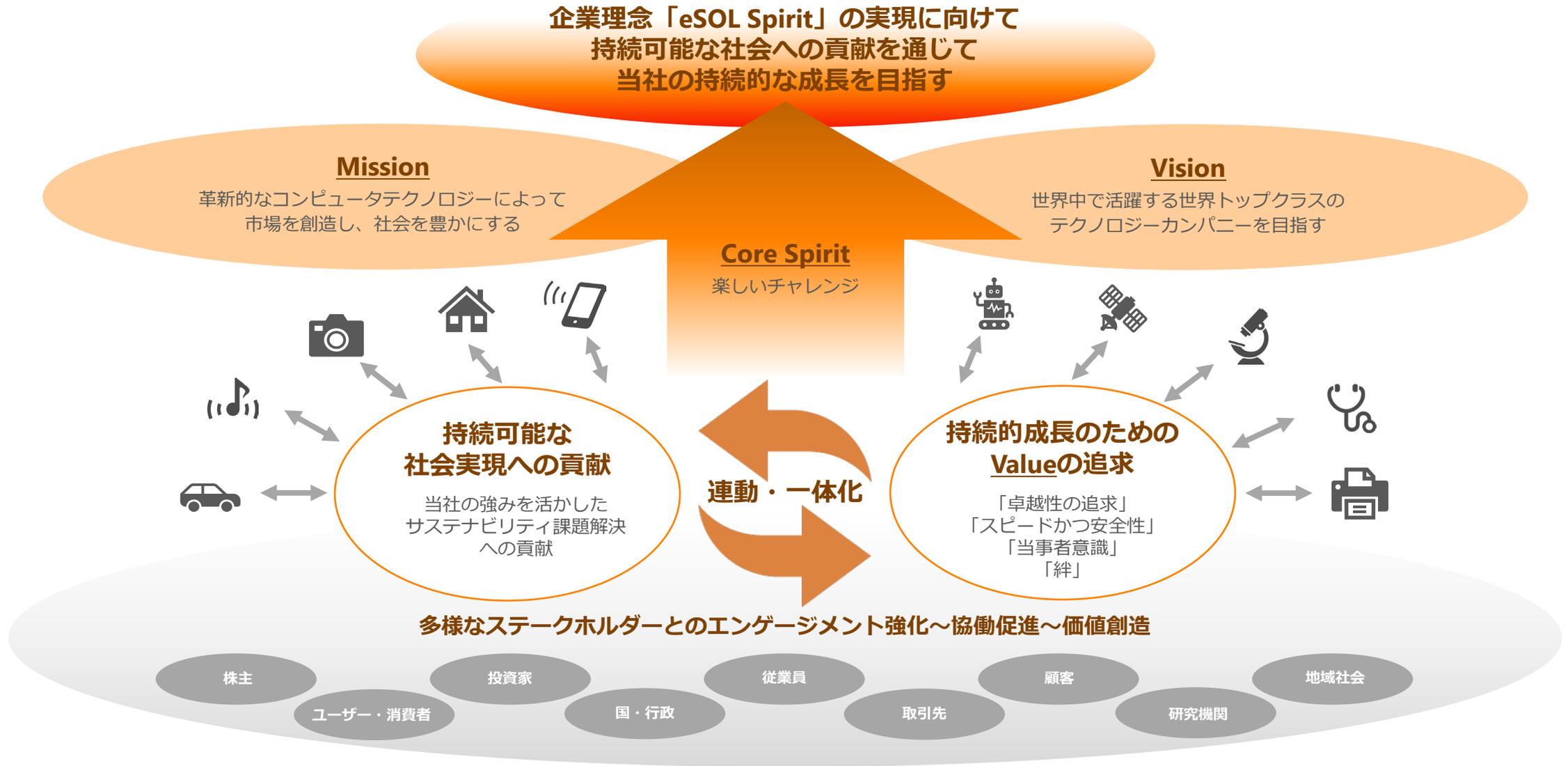
- RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売
- 組込みソフトウェア開発のためのツールの販売

【エンジニアリングサービス】

- 組込みソフトウェアの受託業務としてのエンジニアリングサービス
- 組込みソフトウェア開発にかかわるコンサルテーション
- 組込みソフトウェア開発エンジニアの教育



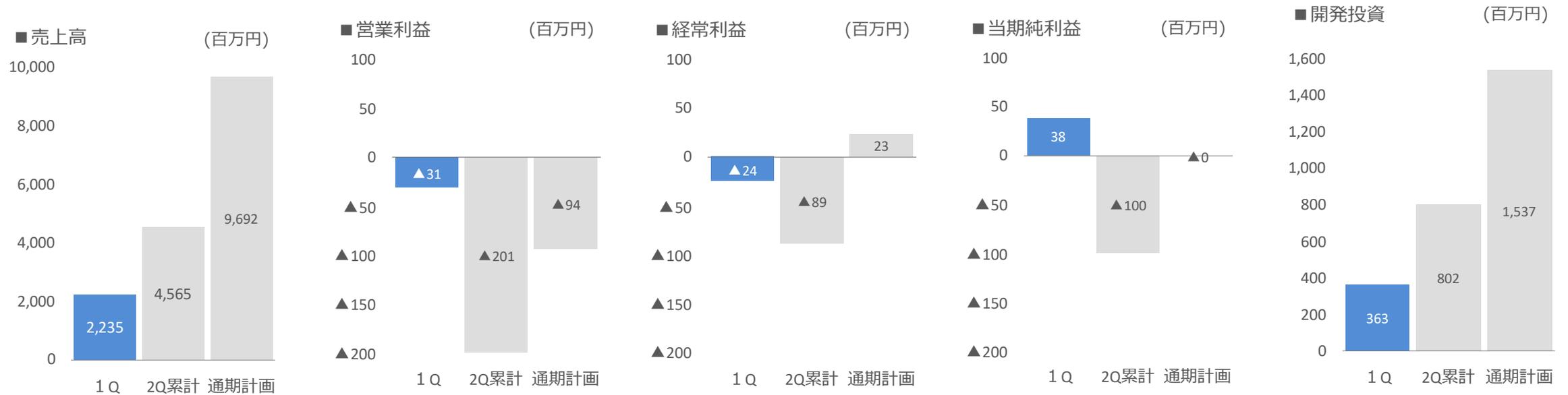
当社サステナビリティ方針



2. 2023年12月期 第1四半期決算概要

決算の概要（計画値の進捗）

2023年2月14日発表の計画値に対し、売上高、各段階利益とも計画どおりに進捗。



決算の概要（前期比）

- 売上高：センシングソリューション事業が減収であったが、組込みソフトウェア事業の増収により、全体で増収となった。
- 営業利益：全体の増収に加え、今期の開発投資計画どおり、自社製OSの開発投資（研究開発費）が減少し、増益となった。

セグメント別の詳細：P10 得意先セクター別の詳細：P13

(百万円)

	2022年 第1四半期	2023年 第1四半期	増減額	増減率
売上高	2,177	2,235	+57	+2.7%
売上原価	1,407	1,434	+27	+2.0%
リビジョンアップ	132	58	▲73	▲55.8%
売上総利益	770	800	+30	+3.9%
販売費及び一般管理費	912	831	▲81	▲8.9%
研究開発費	420	305	▲114	▲27.4%
営業利益	▲142	▲31	+111	-
経常利益	▲152	▲24	+128	-
当期純利益	▲106	38	+145	-

前期比増減の
詳細：P12

セグメント別の業績（前期比）

(百万円)

セグメント別	2022年 第1四半期	2023年 第1四半期	増減	
			増減額	増減率
売上高	2,177	2,235	+57	+2.7%
組込みソフトウェア事業	2,066	2,103	+37	+1.8%
組込みソフトウェア製品	489	319	▲170	▲34.8%
エンジニアリングサービス	1,576	1,784	+207	+13.2%
センシングソリューション事業	132	115	▲17	▲13.1%
連結調整	▲21	16	+38	-
売上総利益	770	800	+30	+3.9%
組込みソフトウェア事業	741	736	▲5	▲0.7%
センシングソリューション事業	46	44	▲2	▲5.0%
連結調整	▲17	19	+37	-
営業利益	▲142	▲31	+111	-
組込みソフトウェア事業	▲116	▲49	+67	-
センシングソリューション事業	▲8	▲1	+6	-
連結調整	▲17	19	+37	-

■ 組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア製品：自動車向けが減少
エンジニアリングサービス：コンシューマ向けが伸びる

■ センシングソリューション事業

ハンディターミナルなどが減少

■ 連結調整

連結調整における利益の増加

開発投資の状況（前期比）

■ 開発投資の基本方針

売上高の10%程度を基準に、毎期、開発投資を継続して行い、自社製品のさらなる高機能化を目指す。

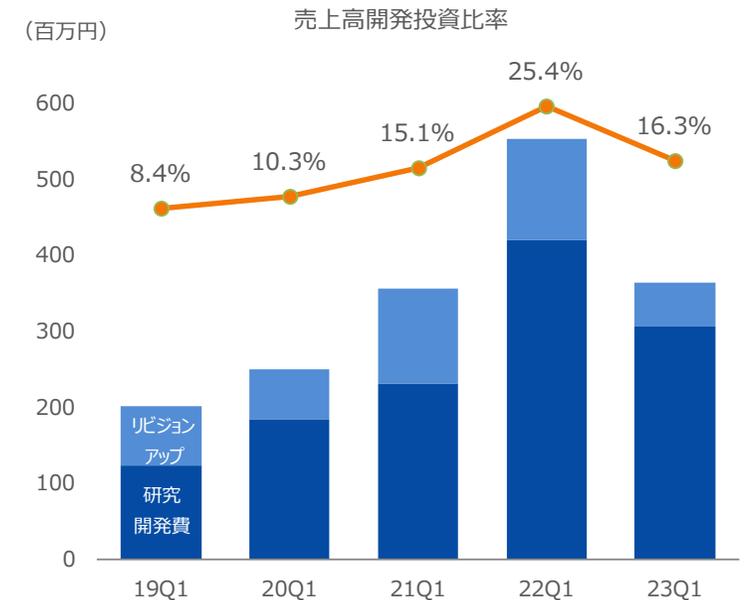
■ 今期の方針

当社が主要ターゲットとして位置付けている自動車市場で進む「CASE」への対応。
当社製品の採用に向けて、売上高比率10%を超えた開発投資を継続。

(百万円)

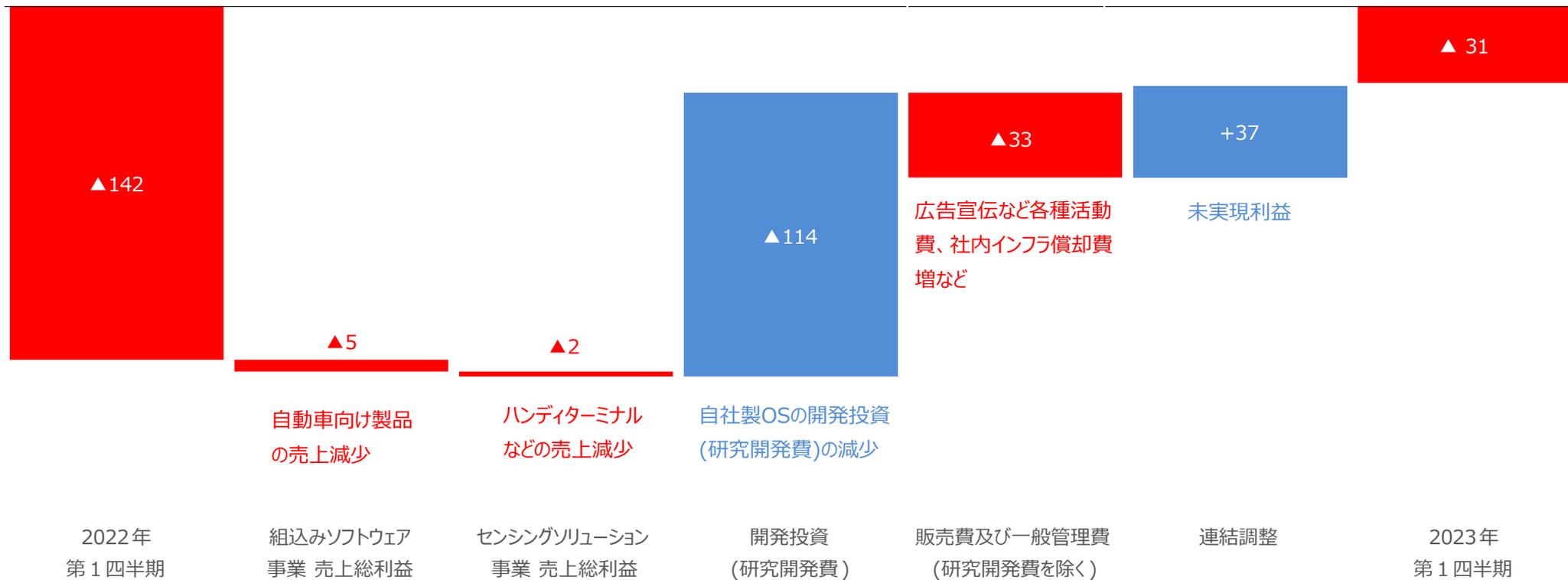
	2022年	2023年	増減額	増減率
	第1四半期	第1四半期		
売上高	2,177	2,235	+57	+2.7%
開発投資額	552	363	▲188	▲34.2%
研究開発費	420	305	▲114	▲27.4%
リビジョンアップ	132	58	▲73	▲55.8%
売上高開発投資比率	25.4%	16.3%	-	-

研究開発費	- 新規製品の開発に対する投資 - 販売費に計上
リビジョンアップ	- 既存製品のバージョンアップに対する投資 - 売上原価に計上



営業利益増減要因（前期比）

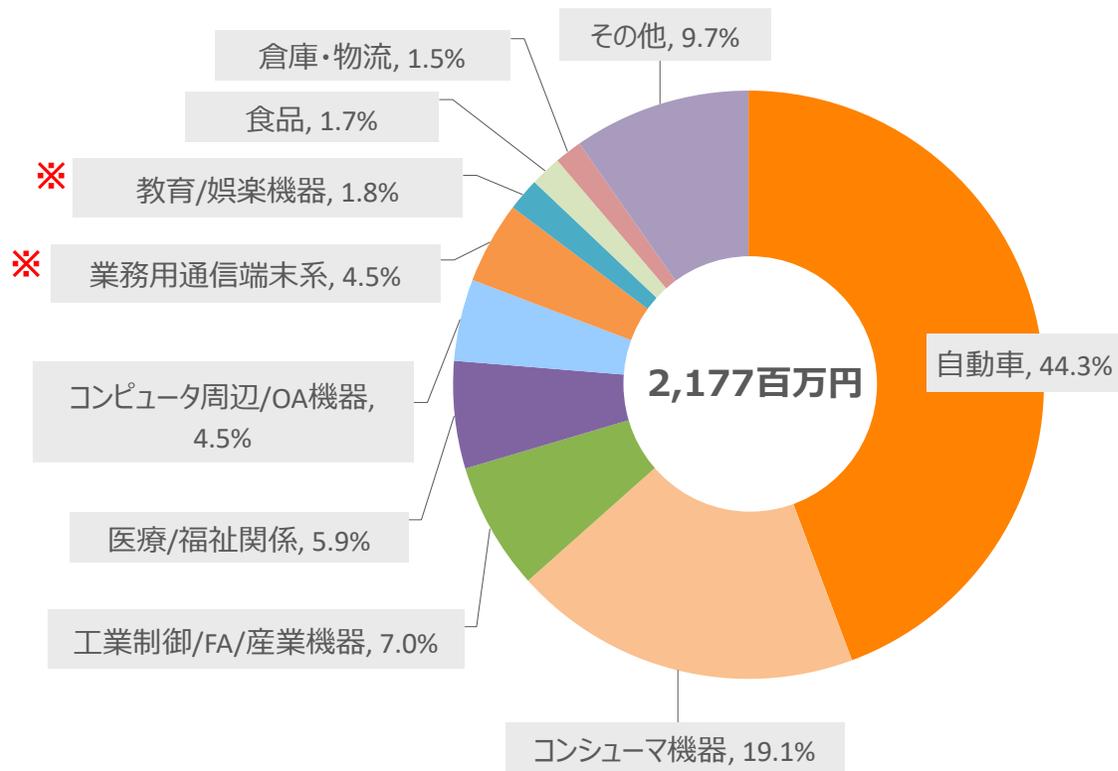
(百万円)



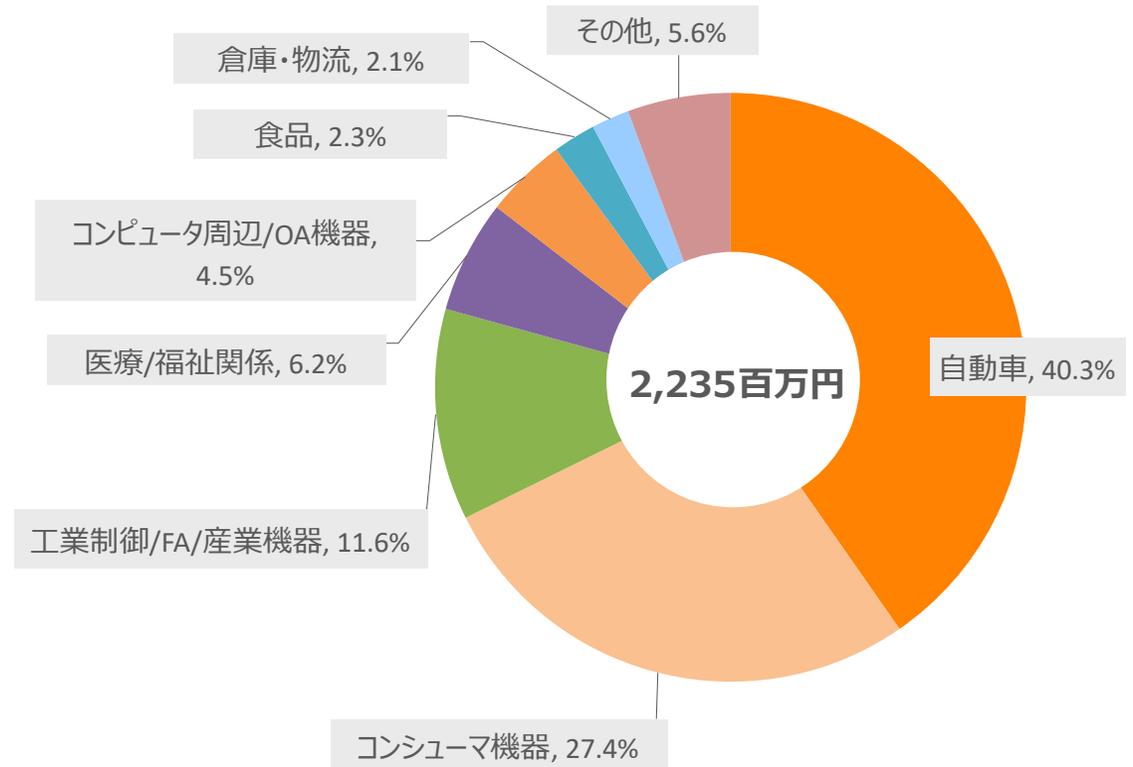
得意先セクター別の売上割合（前期比）

※ 今期より、主に「コンシューマ機器」に統合

(注) 「その他」は連結調整を含む



2022年 第1四半期



2023年 第1四半期

株主還元

次の方針にもとづき、株主のみなさまへの還元を図ってまいります。

■ 配当政策

財務基盤の安定化。

業績に応じた安定した配当性向。

内部留保による企業価値向上への投資（開発投資、人材育成など）。

■ 配当の額

今期も引き続き投資フェーズで、これは将来収益獲得のためであることから、配当額は、前年同額を計画しております。

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1株当たり配当金	*5.50円	5.50円	5.50円	5.50円	5.50円
（うち中間配当金）	(0.00円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)
配当性向	17.0%	16.6%	55.8%	—	—

*うち、記念配当1.50円

3. トピックス

最近のプレスリリースから

2023年4月27日リリース

世界初、次世代プロセッサ IP (RISC-V) 向けの包括的なソフト開発環境の実現に成功しました。

2020年7月から当社を含め4社共同で進めてきた、NEDO*の委託事業である「高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発」において、次世代プロセッサ IP (RISC-V**) 向け包括的なソフト開発環境の実現に成功しました。

今後は、本事業の研究成果を基に、各企業において具体的な事業化を進めていきます。当社は、RISC-V向けOSと開発ツールの開発をさらに進めてまいります。

*NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

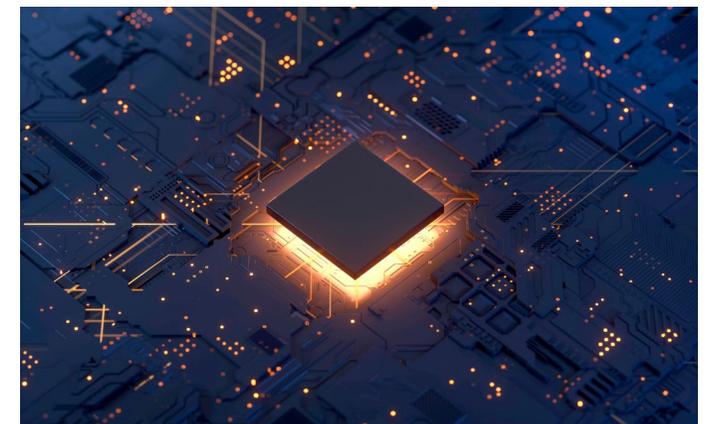
**RISC-V（リスク ファイブ）：オープンソースのCPUアーキテクチャとして多くの企業からの採用が期待されています。

https://www.esol.co.jp/press/press_570.html (2022年6月2日リリース)

https://www.nedo.go.jp/library/ZZ_focus_86_index.html (NEDO広報誌 第86号)

<https://www.nedo.go.jp/content/100952634.pdf> (同誌 13ページ)

https://www.esol.co.jp/press/press_617.html (2023年4月27日リリース)



最近の製品ニュースおよびeSOL Marketing Official Blogから

タイトル	リリース日	URL
デンソー社がVisualSimを用いた車載ネットワーク設計環境の検証について紹介	2023年5月11日	https://blog.esol.co.jp/embedded/visualsim_webinar_230511
最新バージョン「Ansys medini analyze 2023 R1」がリリース	2023年4月28日	https://www.esol.co.jp/news/news_618.html
最新バージョン「Ansys SCADE 2023 R1」がリリース	2023年4月28日	https://www.esol.co.jp/news/news_619.html
イーソルが提供するAUTOSARソリューション：開発実績に関する資料も新たに公開	2023年4月26日	https://blog.esol.co.jp/embedded/automotive_engineering
組込み開発におけるCI導入を阻む3つの課題とその解決方法とは？システムテストの約90%をCI化した実例を元に解説	2023年4月20日	https://blog.esol.co.jp/embedded/continuous-integration
AUTOSAR Classic Platform 入門トレーニングを新たな受講形態・価格で提供開始	2023年4月13日	https://blog.esol.co.jp/embedded/autosar-cp_training_2304
Cyber Security対応における脅威分析の重要性やその副次効果を解説	2023年4月6日	https://blog.esol.co.jp/embedded/webinar_analyzezcs_20230420
Embedded World 2023出展報告：eMCOSプラットフォームソリューションをデモを交えて紹介	2023年3月30日	https://blog.esol.co.jp/embedded/ew2023_20230330
RISC-Vを取り巻く世界的な動向とRISC-V検証環境の実例を紹介	2023年3月23日	https://blog.esol.co.jp/embedded/webinar_imperas_20230413
ソフトウェア並列化の課題を解決するには？〔ウェビナーオンデマンド公開〕	2023年3月16日	https://blog.esol.co.jp/embedded/webinar_archive_202303_embp
FMEA最前線～新しいスタイル“AIAG-VDA FMEA”とは～〔大好評ウェビナーオンデマンド公開〕	2023年3月8日	https://blog.esol.co.jp/embedded/webinar_archive_202303_fmea
ヨーロッパで最大級の組込み開発技術展示会「Embedded World 2023」に出展：仮想化やAutoware、ROSなどを技術適用させたデモを実演	2023年3月2日	https://blog.esol.co.jp/embedded/ew2023
大好評ウェビナーをオンデマンド公開：SOTIFとは何か？効率的に適応するためにどうすべきか？	2023年2月16日	https://blog.esol.co.jp/embedded/webinar_archive_202302

キーマン対談企画から

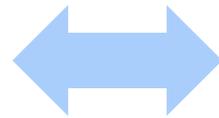
2023年3月30日公開

ティアフォー創業者CEO兼CTO 加藤 真平 氏 × イーソル専務取締役CTO 権藤 正樹

当社とティアフォーは戦略的パートナーシップを締結し、自動運転技術の本格的な商用化と普及に向けて、様々な取組みを行っています。今回、ティアフォーの創業者CEO兼CTOである加藤氏と当社の専務取締役である権藤が、このパートナーシップ締結の経緯から将来的な展望について、両社のビジネスの発展のみならず、業界や社会への大きな貢献にどうつながるかという視点で、ざっくばらんに語り合いました。



ティアフォー創業者CEO兼CTO 加藤 真平 氏



イーソル専務取締役CTO 権藤 正樹

対談全文はこちら



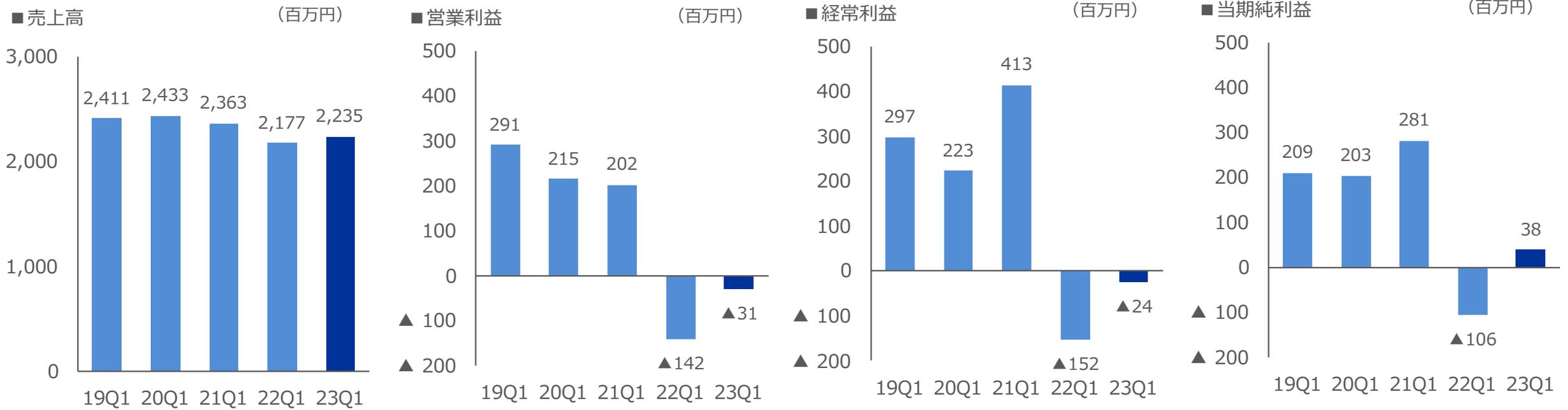
<https://www.esol.co.jp/ir/dialogue/03.html>

経営方針

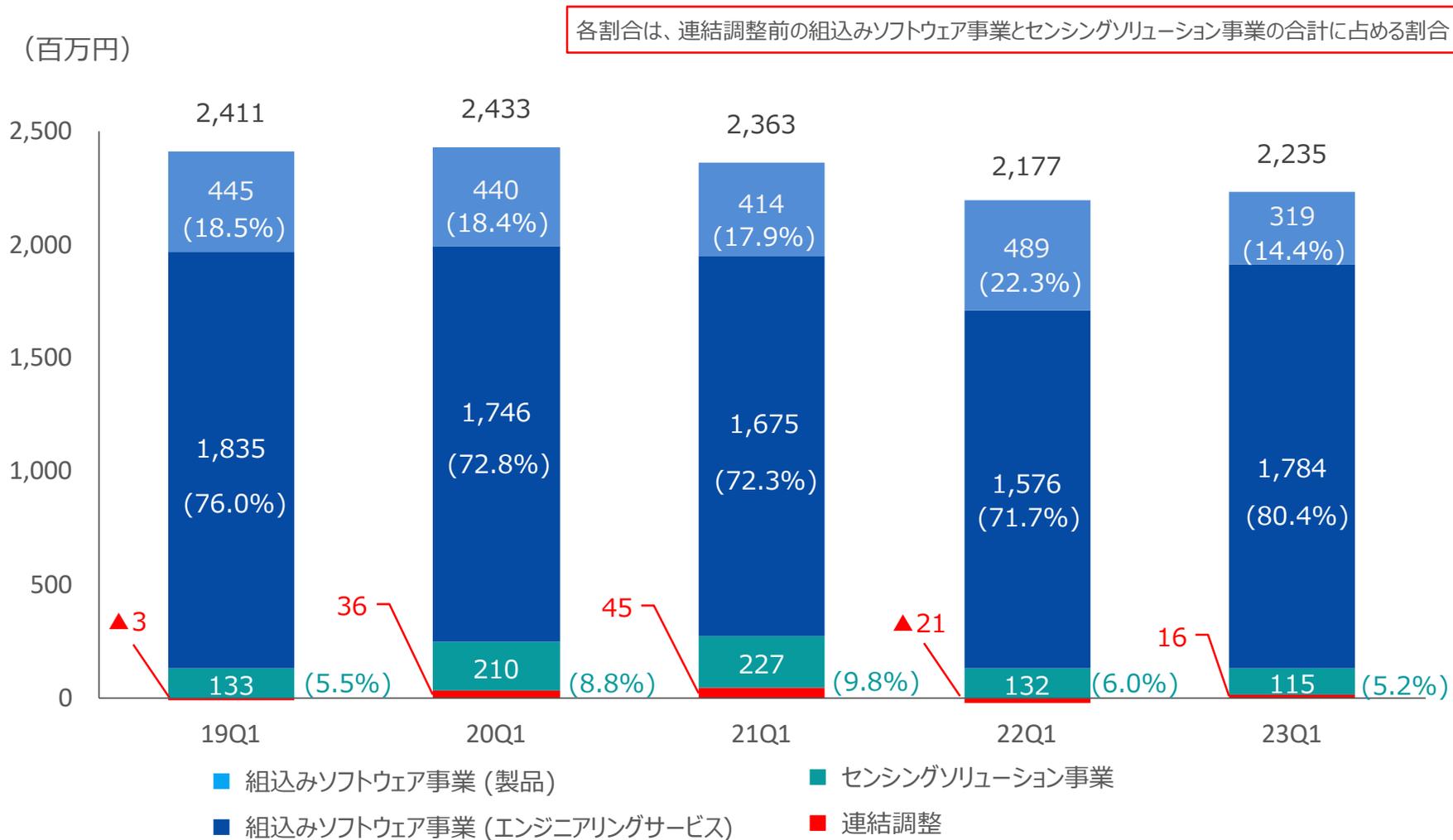
- イーソルは取引先、ビジネスパートナーの皆様、株主の皆様と共に歩み、応援してもらえる企業を目指します。
- 組み込みソフトウェアの分野で、独自のソフトウェア製品の開発と多様なニーズに対応するエンジニアリングサービスまでをワンストップで提供できる世界的にも希少な企業として、今後も事業を拡大してまいります。
- 上場企業として、事業を通して、取引先、従業員、株主、全てのステークホルダーの価値向上を目指します。
- 株主の皆様には、1株あたりの利益の最大化を図り、企業価値向上を目指します。

ご参考資料

過去 5 年間同期比較



過去5年間同期比較 (セグメント別の売上高)



過去5年間の開発投資

(百万円)

	2019年第1四半期	2020年第1四半期	2021年第1四半期	2022年第1四半期	2023年第1四半期
研究開発費	122	183	231	420	305
リビジョンアップ	79	66	124	132	58
開発投資合計	202	250	356	552	363

	2019年第1四半期	2020年第1四半期	2021年第1四半期	2022年第1四半期	2023年第1四半期
売上高	2,411	2,433	2,363	2,177	2,235
売上原価	1,627	1,620	1,517	1,407	1,434
リビジョンアップ	79	66	124	132	58
売上原価 (除くりビジョンアップ)	1,548	1,553	1,392	1,274	1,376
売上総利益	783	813	846	770	800
売上総利益率	32.5%	33.4%	35.8%	35.4%	35.8%
売上総利益 (除くりビジョンアップ)	863	879	970	902	859
売上総利益 (除くりビジョンアップ) 率	35.8%	36.2%	41.1%	41.5%	38.4%
販売費及び一般管理費	492	597	643	912	831
研究開発費	122	183	231	420	305
販売費及び一般管理費 (除く研究開発費)	369	413	411	492	526
営業利益	291	215	202	▲142	▲31
営業利益率	12.1%	8.9%	8.6%	-	-
営業利益 (除く開発投資)	493	466	558	410	332
営業利益 (除く開発投資) 率	20.5%	19.2%	23.7%	18.8%	14.9%
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ)	414	399	434	277	273
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ) 率	17.2%	16.4%	18.4%	12.8%	12.3%

本資料の取扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性などを含むため、将来の経営成績などの結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社グループの関連する業界動向などの要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生などがあつた場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂などを行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報などから引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適切性などを保証するものではありません。

お問い合わせ先

イーソル株式会社
社長室 IR担当

e-mail : esol-ir@esol.co.jp

当社WEB : <https://www.esol.co.jp/>